

# 令和4年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

優秀賞

## 市立伊丹病院

(兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地)

### 受賞者の取り組み

市立伊丹病院は院内に手話通訳士を配置し、聴覚障害者の外来及び入院診療において、患者と医師とのコミュニケーションを円滑にすることで患者が自身の病状をより深く理解し、診療を受けられるような取り組みを約40年間に渡り継続している。院内手話サークルにはじまり、2009年からは手話通訳士を採用し聴覚障害者受け入れ体制を強化している。また、2022年7月には、対面での手話通訳が困難な状況下において、通信機器を用いて通訳を試みた。2021年度は年間731件の手話通訳対応があった。手話通訳以外にも視覚的に見やすい「聴覚障害者指差しカード」や「点眼チェック表」などの補助ツールや治療説明動画を作成し安心して治療を受けてもらう工夫が施されている。

### 安全で安心な信頼される医療を提供



### 〈ポイント〉

- ・兵庫県内で手話通訳士を配置している数少ない病院
- ・手話通訳対応が約40年間継続
- ・院内手話サークル「たんぽぽ」発足
- ・2021年度年間手話通訳対応件数 731件（2009年度実績290件の2.5倍増）
- ・テレビ番組でも特集されるなど医療現場における手話通訳の必要性と重要性が取り挙げられている
- ・聴覚障害者向けに「指差しカード」や「点眼薬整理箱」、「点眼チェック表」など視覚的にわかりやすい補助ツールを作成
- ・手話・字幕付き胃がん内視鏡治療動画を作成

### 講評

バリアのないまちづくりに寄与。院内に手話通訳士を常駐させ、聴覚障害のある患者に丁寧な治療方法等の説明や円滑なコミュニケーションを図ることに取り組んでおり、ハード面に限らず、ソフト面でのバリアフリー化の取組を長年にわたり継続して実施していることを高く評価。今後も多種多様な障害者に対し、業界の牽引者として取り組まれることを期待したい。

第16回（令和4年度）国土交通大臣表彰受賞